

# 「今後のICT教育について」

令和2年2月21日  
総合教育会議  
教育部 学校教育課

## 1. 背景

高度情報通信ネットワーク社会の発展に伴い、新しい価値やサービスが創出され、人々に豊かさをもたらす新たな社会 Society5.0(※1)時代の到来が予測されており、その実現を目指している。

## 2. ICTの進展にかかる国の動向

### (ア) 学校教育の情報化の推進に関する法律（令和元年6月28日公布施行）

（目的）高度情報通信ネットワーク社会の発展に伴い、学校における情報通信技術の活用により学校教育が直面する課題の解決及び学校教育の一層の充実を図る。

### (イ) 安心と成長の未来を拓く総合経済対策（令和元年12月5日閣議決定）

#### ・Society 5.0 時代を担う人材投資、子育てしやすい生活環境の整備

Society 5.0 という新たな時代を担う人材の育成や、特別な支援を必要とするなどの多様な児童生徒を誰一人取り残すことのない一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境を速やかに整備するため、関係省庁が連携しローカル5Gや教育コンテンツも活用した未来の学びの実現を目指す。

#### 【関係省庁の施策との連携】

文部科学省：GIGAスクール構想の実現（Global Innovation Gateway For All）

総務省：教育現場の課題解決に向けたローカル5Gの活用モデル構築

経済産業省：EdTech(※2) 導入実証事業、学びと社会の連携促進事業

## 3. 文部科学省の方針・計画

### (ア) 新学習指導要領（平成29年3月告示）

新学習指導要領においては、「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、各学校においてコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するための必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが明記されている。

### (イ) 教育のICT化に向けた環境整備5カ年計画（平成29年度）・・・資料1

文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ平成29年度「教育のICT化に向けた環境整備5カ年計画（平成30年度～令和4年度）」を策定した。その中で、大型提示装置は普通教室、特別教室に設置、学習者用コンピュータは3クラスに1クラス分程度の設置等を目指している。

### (ウ) GIGAスクール構想（令和元年度）・・・・・・・・・・・・・資料2

Society5.0時代を生きる児童生徒にとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きいと、令和時代のスタンダードな学校像として全国一律のICT環境整備が急務として、児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する、いわゆるGIGAスクール構想（令和元年～令和5年）を計画・推進している。

## (エ) ICT教育環境整備の必要性

### ・学習指導要領に準拠した授業の実践

新学習指導要領では、ICTの活用も含めた思考力、判断力、表現力などの能力をより高めていくことが必要とされ、「プログラミング的思考」（プログラミング教育）を身につけるための学習活動を実施することが明記されている。

### ・ICTを活用した教育において目指す学びのスタイル・・・・・・・・・・・・・資料3

大型提示装置で資料を大きく映し出すことができるので、視覚的にわかりやすい。また、児童生徒が自分の考えを映し出して説明する機会が増えるため、プレゼンテーション能力の向上につながる。大型画面で資料や意見を共有することで多様な意見を引出し、活発な話し合いにより学びを深めることが期待できる。



1人1台の児童生徒用コンピュータを利用した授業では、児童生徒一人ひとりの習熟度や学習速度にあわせて個々の学びを実践でき、知識の定着に大きな効果ができる。

## 4. あま市におけるICT教育環境の現状

### ・ICT機器の整備状況

各小中学校にコンピュータ教室を整備し、コンピュータリテラシー(※3)の習得やインターネットを利用した調べ学習等に活用している。

また、各校1~7台の電子黒板等の大型提示装置が整備され、普通教室において映像や写真等のデジタル教材を使った授業に活用している。

なお、普通教室には有線LANケーブルが敷設されている。

児童生徒用PC1台当たりの児童生徒数 (児童生徒用PCの総台数697台)	10.8人/1台
児童生徒用タブレット1台当たりの児童生徒数 (伊福小100台、甚目寺南小11台、七宝北中10台 計121台)	62人/1台
1教室当たりの電子黒板等の大型提示装置数 (電子黒板等の大型提示装置の総台数79台)	0.17台/1教室

全国平均値5.4人/1台  
愛知県平均値7.5人/1台

\*児童生徒数7,571人（平成31年3月現在）

\*普通教室数283室、特別教室数159室 計442室

※1 Society5.0・・・・・・・・・・・・・仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。または、すべての人とモノがインターネットでつながり、知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を見出す社会。

1.0は狩猟社会・2.0は農耕社会・3.0は工業社会・4.0は情報社会・5.0は超スマート社会

※2 EdTech（エドテック）・・・AIや動画、オンライン会話等のデジタル技術を活用した教育技法。

※3 コンピュータリテラシー・・・・・・・・・・・・・コンピュータを操作して目的とする作業を行い、必要な情報を得ることができる知識と能力を持っていること。または、インターネットを用いた情報の取得方法及びその情報の真偽を確かめ、情報を取捨選択する能力。